

ポプラの森通信

Aichi University Green Volunteers Society



日本沙漠緑化実践協会「草の根の集い」を車道校舎で開催

— 沙漠緑化の思いを語り、伝え合おう —

日本沙漠緑化実践協会の創設者であり初代会長であった遠山正瑛氏が、2004年2月27日97歳で逝去されてから早や3年になろうとしています。

ご健在ならば今年で満100歳。生前の執筆された先生の著書の中に「風去來はまさに私の一生である。富士下ろしの風(先生は山梨県生まれ)とともにこの世に生まれ、沙漠の砂と共に生き、沙漠の風と共に砂の中に消える運命である。」の一項があります。

この言葉通り、先生は沙漠緑化の遠大な理想を掲げて中国・内モンゴル自治区恩格貝の地で沙漠緑化を生涯の仕事として、それこそ愚直一徹に生き、その功績が中国政府によって「綠色使者」の称号を与えられるまでに至っています。

こんにち、植林地クブチ沙漠恩格貝は、ボランティア7000人余の

活動により植林数が300万本を超え、1991年9月植林開始時の一木一草すらない荒涼とした沙漠地帯とは比ぶべきもない風景となり、屹立したポプラの森には目をみはるばかりです。

遠山正瑛初代会長の「やればできる。やらなければできない。」という強い信念と行動力が、幾多の困難を克服し今日の沙漠緑化を実現する原動力となっています。

(文:日本沙漠緑化実践協会理事 田岡鈺郎氏)



遠山正瑛
日本沙漠緑化実践協会初代会長

12月10日(日)本学車道校舎にて、日本沙漠緑化実践協会主催 遠山正瑛初代会長生誕100年記念「草の根の集い」が開催され、「ポプラの森」会員・植林ボランティア参加者のほか、植林や地球環境に関心のある約100名の方が集まりました。このイベントに「ポプラの森」は主管として運営に携わりました。

当日は、浅井英行「ポプラの森」運営委員(財愛知大学同友会常務理事)の司会のもと、協会会長を務める藤田佳久本学文学部教授の基調講演や、佐藤元彦「ポプラの森」運営委員長をコーディネーターとするパネルディスカッションが行われました。パネルディスカッションでは、日本沙

漠緑化実践協会の安田 廉(きよし)さんや国内外で活躍されている植林ボランティア団体の代表者に加え、「ポプラの森」第3次隊に参加された株式会社エステムの吉本 真さん、林 徳太郎「ポプラの森」運営委員らが、これからの沙漠緑化に向けた意見を交わしました。会場では「ポプラの森」の植林活動を紹介するパネル展示も行なわれました。

なお、「草の根の集い」は、中部地区と同様全国各地で開催され、その総括として本年2月24日(土)～25日(日)には国連大学、鳥取県、鳥取大学、中国内モンゴル政府関係者の協力のもと遠山初代会長ゆかりの地、鳥取市で開催されました。「ポプラの森」からは、佐藤運営委員長が参加しました。

2006年度第3次植林ボランティア隊を派遣しました



2006年度愛知大学緑の協力隊「ポプラの森」第3次隊は、今井理之現代中国学部長を隊長とし、43名の参加者が7/31(月)～8/7(月)の日程で中国内蒙古自治区恩格貝クブチ沙漠での植林活動に取り組みました。

今回から、一部の学部で植林参加が単位認定されたことに関連して、藤田佳久文学部教授(日本沙漠緑化実践協会会長)と宮沢哲男経済学部教授による沙漠講義があり、出発前に十分な予備知識を持って植林に臨むことができました。

出発日前日に中国で大雨が降った影響により、中部国際空港発の飛行機が2時間ほど遅れて出発し、北京駅発の夜行列車に辛うじて間に合うといった際どい場面や、植林地でバスのタイヤが沙漠の砂に埋もれてしまい、全員でバスを押し出したり、2004年に現地に建立した記念碑の銘板が剥がれ落ちてしまっていたりなど、様々な出来事がありました。クブチ沙漠は例年よりも気温が低いとのことで作業そのものは順調に進み、計575本のポプラを植林することができました。また、昨年度派遣された第2次隊の改植、剪定作業なども行いましたが、活動中に95年度「緑の協力隊」第2次隊の森を発見し、参加者全員が成長したポプラを感慨深く眺める一幕もありました。2006年度「ポプラの森」第3次隊の森は、2005年度隊の手前に植林され、通路として植えた新疆ポプラとともに一帯で

愛知大学の森となることが期待されます。

帰国後は藤田・宮沢両教授によるフォローアップが行われ、実践と座学の組み合わせによって、沙漠緑化への思いを一層強くすることができました。



新聞・雑誌に「ポプラの森」の活動が紹介

株式会社進研アドが大学関係者向けに発行している雑誌「Between」2006年夏号の連載記事「USR時代を生きる」に「ポプラの森」が紹介されました。USR (University Social Responsibility)とは大学の社会的責任との意味で、昨今様々な場面で指摘されている企業の社会的責任(=CSR)の大学版といった位置づけがなされています。誌面では、佐藤「ポプラの森」運営委員長により、愛知大学の設立趣意書に沿って活動

がスタートした経緯や、学生のみならず社会人を含め、世代を超えた交流の場として活動がなされてきたことが紹介されました。

また、植林ボランティア隊の活動も新聞各紙で取り上げられ、「ポプラの森」を広くPRすることができました。



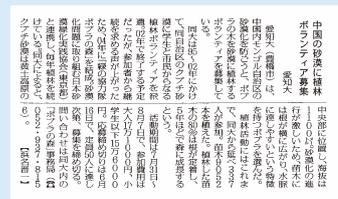
▲'06年4月29日(土曜日) 東愛知新聞



▲'06年5月26日(金曜日) 朝日新聞



▲'06年4月26日(水曜日) 東海日新聞



▲'06年4月25日(火曜日) 毎日新聞

「ポプラの森」交流会を開催

例年植林ボランティア隊参加者や会員を中心に開催している交流会ですが、今年度は巻頭でもご紹介した「草の根のつどい」にあわせて12月10日(日)に車道校舎で開催されました。会には日本沙漠緑化実践協会の安田さんにもご出席いただき、植林後の苗の生育状況から、恩格貝を取り巻く環境の変化まで興味深くも考えさせられるような色々なお話をうかがうことができました。また、活動中の写真を持ち寄ったり、植林参加者の原田稔子さんから遠山正瑛日本沙漠緑化実践協会初代会長らの活躍が描かれた漫画本を寄贈いただいたりと、和気藹々としたひと時を過ごしました。

2006年度隊感想文集「ポプラの森」を発行

2006年度植林ボランティアに参加いただいた方々による感想文集「ポプラの森」を発行し、参加者をはじめ関係者に配布しました。今回の感想文集は活動中の写真を増やし、活動状況がより分かりやすいよう編集に努めました。残部が若干ありますので、希望者は「ポプラの森」事務局までお問い合わせください。



▲感想文集 vol.3

本会会員にオルドス市人民政府が荣誉证书を授与

中国内蒙古自治区オルドス市人民政府より、長年にわたる沙漠緑化事業への感謝の印として本会会員に荣誉证书が贈呈されました。今回荣誉证书を授与された方々は次の3名です。

林 徳太郎 氏(植林参加回数11回)

藤木 虎吉 氏(植林参加回数8回)

等々力 重信 氏(植林参加回数5回)

お三方からは、植林地への道中にある川を渡る際、旗竿をさして水深をはかりながら恐る恐る進んだことや、現地の小学校を親善訪問したら、その翌年には小学校がなくなっていた話、植林作業中の昼食がなぜインスタントカレーなのか等々、植林活動開始初期の懐かしいお話から、思わず「そうだったのか」と唸られるようなお話まで、数々のエピソードを伺うことができました。



2007年度「ポプラの森」 第4次隊派遣日程について

2007年度「ポプラの森」第4次隊の派遣日程は、2007年8月7日(火)～8月14日(火)の7泊8日の日程(中部国際空港発着)の予定で、現在日本沙漠緑化実践協会および旅行会社と調整しています。費用等の詳細は、4月上旬を目処に会員の皆様へお知らせする予定です。

派遣にあたっては、参加者の皆様からこれまでにいただいた貴重なご意見を可能な限り反映させたいと考えています。



データで見るポプラの森

活動記録

愛知大学「緑の協力隊」活動記録

派遣隊	派遣期間	参加人数	植林数	備考
予備調査	1995年5月7日(日)～5月14日(日)			
第1次隊	1995年7月28日(金)～8月4日(金)	22名	1,600本	ポプラ
第2次隊	1995年9月8日(金)～9月15日(金)	22名	1,000本	ポプラ
第3次隊	1996年7月25日(木)～8月1日(木)	17名	882本	ポプラ
第4次隊	1996年9月5日(金)～9月12日(金)	15名	679本	ポプラ
第5次隊	1997年7月25日(金)～8月1日(金)	29名	750本	ポプラ
第6次隊	1998年8月23日(日)～8月30日(日)	31名	850本	ポプラ
第7次隊	1999年8月26日(木)～9月2日(木)	21名	134本	ポプラ + 松 + 草方格270㎡
第8次隊	2000年8月24日(木)～8月31日(木)	28名	999本	ポプラ
第9次隊	2001年8月24日(金)～8月31日(金)	46名	488本	ポプラ
第10次隊	2002年8月11日(日)～8月19日(日)	48名	520本	ポプラ
合計		279名	7,902本	

愛知大学緑の協力隊「ポプラの森」活動記録

派遣隊	派遣期間	参加人数	植林数	備考
第1次隊	2004年8月11日(水)～8月18日(水)	32名	646本	
第2次隊	2005年8月23日(火)～8月30日(火)	26名	504本	
第3次隊	2006年7月31日(月)～8月7日(月)	43名	575本	北京ポプラ463本 新疆ポプラ112本

「ポプラの森」会員数(2007.2.14現在)

個人会員227名、法人会員9団体

愛知大学緑の協力隊

ポプラの森

愛知大学
緑の協力隊「ポプラの森」事務局

〒461-8641 名古屋市東区筒井2丁目10-31
TEL 052-937-8156 FAX 052-937-8157
e-mail: kouyu@aichi-u.ac.jp

